city & life

都市のしくみとくらし

no. 64
summer
2002

特集

「都心居住」のまちづくり

city&life no.64 summer 2002

表紙――「佃」
裏表紙――建設中の六本木ヒルズ
photo:鈴木理策

特集 「都心居住」のまちづくり

contents

対談 都市再生 伊藤滋×日端康雄 2
都心を生活の場へ変えよう

ルポ 職・住・遊の融合が豊かな生活を実現する 8

ルポ 都心に暮らす愉しみ 16
食・集・楽・遊の風景

インタビュー 都心は高齢者にとって住みやすい場所か 22

インタビュー 都心居住の原点は大阪にあった?! 27
都住創の試み

インタビュー 空きオフィスを住宅へ 松村秀一 32
建築のコンバージョン

連載 都市を拓いた人々㊴ 弘前 35

information・back number 40

「都心居住」のまちづくり

特集

都心における人口の空洞化、地域コミュニティや歴史文化の衰退が喧伝されて久しい。
また、スプロール化の進行、拡大により通勤時間が増し、サラリーマン世帯の住宅に対する不満は、
今や慢性化しつつある。一方、都心の中心部には、未利用地が多く存在し、その再利用、有効活用を望む声が強い。
そうした現況を踏まえて、国土交通省を中心に進められている都市再生の一環として
都心居住を推進するプロジェクトが動き始めた。ともすると超高層居住に一極化しつつある「都心居住」を冷静に見据え、
あくまでも暮らしの場の再生という視点から都心部に住む意味を考えてみたい。
「小さなまちづくり」、「居住形態の多様性」、「都市生活の愉しみ」を軸とする21世紀型の「都心居住」論の試み。

photo:**鈴木理策**「新橋駅前広場から汐留を望む」